

アジア地域ファンドパスポート合同委員会会合 2019年10月21日、22日（於シンガポール）

アジア地域ファンドパスポート（以下、パスポート）合同委員会（以下、JC）の第7回対面会合が、2019年10月21日、22日にシンガポールにおいてシンガポール金融管理局の主催により開催された。会合には、オーストラリア、日本、ニュージーランド（副議長）、韓国、タイ（議長）が参加した。また、JCはシンガポール金融管理局、マレーシア証券委員会、台湾金融監督管理委員会、香港証券先物委員会、フィリピン証券取引委員会をオブザーバーとして迎えた。

パスポートの進捗

パスポートは2019年2月1日より開始し、パスポートファンドとしての登録のための最初の申請をニュージーランド金融市場庁が確認している。

合同委員会では、業界との連携や、いかにメンバーとJCがパスポートの認知度を高めつつその利用を業界に促すことができるかについて議論を行った。近時のARFPのウェブサイトの拡充がこの目標の支えとなるだろう。

JC議長であるタイ証券取引委員会のSaovanee Suwannarong氏は以下のとおり発言した。

パスポートが運用の段階に入った今、JCはパスポートの枠組みの理解を広げる助けとなるよう業界に対して必要な情報を入手可能な状態とするとともに、業界と連携を継続していくことによって、パスポートの認知度を高めるように努力する。

JCでは、このほか、他のパスポート協定との相互運用性の検討や、今後オブザーバーとして参加する可能性のある多くのエコノミーとの議論の継続を含む、パスポートの将来の方向性についても議論した。

JCは、JCと潜在的な新メンバーとの間で、パスポート参加によって想定される機会や実務的な検討事項について対話する、オブザーバーのための会合を継続して設置する。

JCは、最新の2018-2019にかけての年次報告書を公開した。

業界への働きかけ

JCは、10月23日にシンガポールにて開催された、シンガポール金融管理局のアレンジによる、Industry Dayを歓迎した。会合には、地域から350人を超える関係者が参加した。シ

ンガポール金融管理局の Jacqueline Loh 氏によって開会の挨拶がなされた。参加者は JC メンバーから各メンバー国のパスポートの手続きについてプレゼンテーションを受け、これに続いて、パスポート利用に関心のある聴衆のための実務的な論点に関する質疑応答がなされた。

続いて PwC の Armin Choksey 氏によるプレゼンテーションが行われ、ARFP によって創られたアジアの合同運用ファンドの機会が強調された。最後に、ファンドマネージャー、税務アドバイザー、証券サービス提供者から成るパネルセッションが行われ、クロスボーダーのファンド運用サービスの経験に基づく知見が共有されて、イベントは閉幕した。

PwC の Armin Choksey 氏は以下のとおり発言した。

ARFP は歴史的瞬間である。マーケットへのより開かれたアクセスの提供と規制の調和を通じて、他の多くの経済圏に対して好例を示し、投資家に対して投資ファンドの更なる多様な選択肢を与えている。

JC では ARFP のスキームによって示された機会の認知度を高めるための様々な方法について議論し、パスポートを発展させるため業界と協力することの継続的な意志を確認した。

次回会合

JC の次回対面会合はタイにおいて 2020 年 4 月に行われる予定である。

過去の経緯

2016 年 6 月、オーストラリア、日本、韓国、ニュージーランド、タイは協力覚書 (MoC) を締結した。JC はパスポートの効果的な実施と運用を統括するため、MoC に基づいて設立された。

APEC 財務大臣会合を経て設立されたパスポートは、リテール投資家に対し、投資ファンドのクロスボーダーの販売を行うことを可能にする。これは、投資家保護のための効果的な法規制を維持しつつ、より多くのファンドの選択肢を与えることで、投資家に対して利益をもたらすことを意図している。本制度はまた、地域の金融市場及びファンド業界の能力、専門性そして国際競争を強化することも目的としている。

2019 年 10 月 30 日